



一般財団法人 南西地域産業活性化センター

2026（令和8）年 1月27日

“南西地域のシンクタンク”

NANSEI SHOTO INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

〒900-0015 那覇市久茂地3-15-9（アルテビル那覇2F） 電話（098）861-2180

各 位

景気ウォッチャー12月調査

沖縄地域の結果

弊財団は、内閣府が主管する景気ウォッチャー調査を取りまとめている三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より再委託を受けて沖縄地域の調査を行っております。

この度、12月調査の結果をまとめました。調査の概要は以下の通りです。

1. 日中関係の影響は限定的で、観光需要と年末による県内需要が好調であったことから現状判断DI値は「52.3」と好況。
2. 日中関係への懸念はあるものの、観光需要の好調が期待されていることから、2~3か月先の先行き判断DI値は「58.1」と好況の見通し。

詳しい報告につきましては別紙「景気ウォッチャー調査(沖縄地域)2025年12月調査」をご覧ください。

※お気づきの点、不明な点などございましたら、下記までご連絡ください。

・担当：島袋

問い合わせ先：電話 098-861-2180 (ファクシミリ 098-869-0661)

E-mail shimabukuro-y@niac.or.jp

報道各社

内閣府において、公表された 2025(令和 7)年 12 月
「景気ウォッチャー調査」の調査結果をもとに、弊財団
にて、沖縄地域の結果の概要を取りまとめましたので、
皆様に報告いたします。

一般財団法人南西地域産業活性化センター

会長 本永 浩之

景気ウォッチャー12月調査（季節調整値） 沖縄地域の結果

1. 沖縄地域の12月調査結果

- 12月調査の現状判断DI値は52.3と9ヶ月連続で景気判断基準値の50を上回り好況が続いております。
- 前回調査で懸念された日中関係による影響は、事業者によって異なり、客足が減少した事業者もあれば、ほとんど影響のない事業者もあり、影響は限定的であったとみられます。また、県内需要については年末にかけて好調であったことから、全体では好況を維持しております。
- 以下は、調査であったコメントです。

家計動向関連：「政治的な問題によるインバウンドの影響は少ない。インバウンドが減少した分、地元客や国内観光客の割合が増加したため売上への影響はみられない。」

企業動向関連：「年末商戦は始まっているが、3か月前と同様に一般消費者の財布のひもは固くなっている。観光関連の消費は引き続き好調に推移している。」

雇用関連：「2027年卒向けの説明会の依頼及び求人票提出がかなり増えている。」

2. 沖縄地域の先行き

- 先行き判断DI値は58.1と景気判断基準の50を上回り、2~3か月先も好況とみています。
- 日中関係の影響を懸念する声もありますが、観光需要が好調であることから、事業者の多くは引き続き観光客が増加することを期待しております。
- 最低賃金引き上げによる影響について、一部の事業者からは営業収益や人材確保の負担になるとの見方がありますが、消費拡大につながるとの見方も増えてきています。
- 以下は、調査であったコメントです。

家計動向関連：「3月は行楽需要もあり、転勤や入学の関係で新規客も増えることが見込める。また、最低賃金引上げによる需要増加を期待している。」

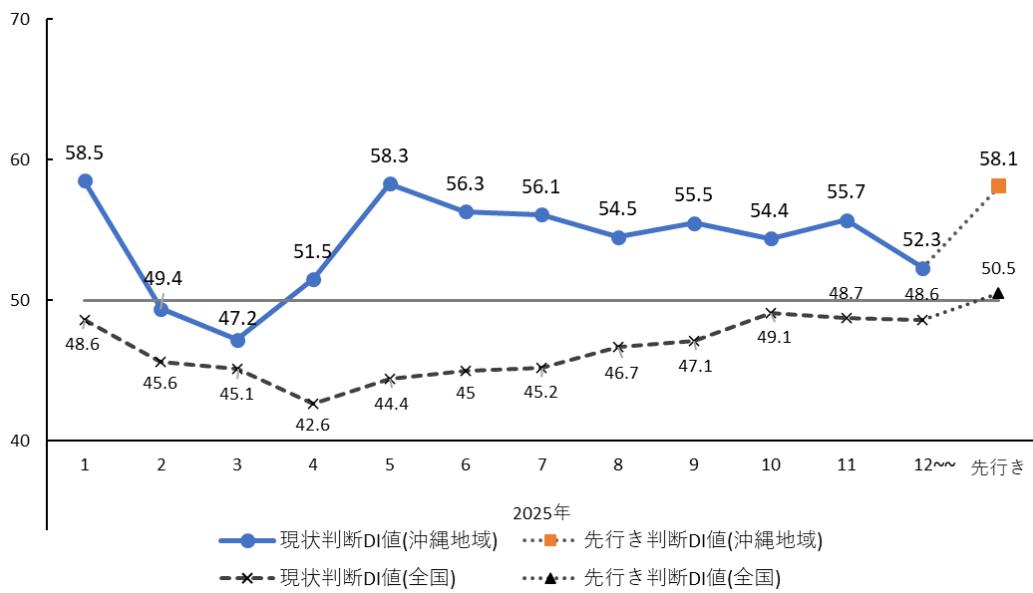
企業動向関連：「ガソリン暫定税率廃止や株価高が当面は心理的に好影響を与えていくとみられる。」

雇用関連：「年末の欠員や異動によるサービス、小売、飲食業での採用増加に併せて、新卒と中途採用の募集も増えるとみている。」

3. 所感

- 昨年末からガソリンの暫定税率の廃止や電気・ガス支援など、物価高対策として様々な経済政策が始まっていますが、景気ウォッチャー調査からは政策への期待や不安のコメントが混在しております。経済政策が私たちの生活を改善に向かわせることを期待しつつ、今後の動向について注視していきます。

図 沖縄地域と全国の現状判断 DI 値の推移と先行き判断 DI 値（季節調整値）



出典：内閣府「景気ウォッチャー調査」より NIAC 作成

※「先行き判断 DI 値」は、調査月から 2~3 か月先の景気の見通し。